

田村広域行政組合から
脱退を議決

去る3月27日の臨時議会で、田村広域行政組合からの脱退に関する議案が賛成多数で可決され、4年後の平成35年（令和5年）3月31日に脱退することが決まりました。

田村広域行政組合で
行っているもの

田村広域行政組合は、昭和40年に当時の田村郡7町村が設立した「田村地方衛生処理組合」をスタートとし、現在は田村市、三春町、小野町の3団体で構成され、し尿処理を行う田

村地方衛生処理センター（船引町）、一般廃棄物（ごみ）処理を行う田村東部環境センター（滝根町）と田村西部環境センター（三春町）の2カ所の焼却施設、最終処分場（常葉町）の各施設の運営を行っているほか、地域インターネットの情報システムの管理業務なども行っています。

ごみ焼却施設整備の
検討・協議

組合では、ごみ焼却施設の老朽化対策とさらなる効率化を期するため、平成27年から施設の在り方や施設整備の検討を進めてきました。その結果、翌28年には、以前からの方針どおり、「現在2カ所ある東西の

環境センターを1カ所に集約すること。また、新たな施設は造らず、「滝根町にある田村東部環境センターの処理能力を増強して管内のごみ焼却を行うこと。」「集約と処理能力増強のための基幹改良工事を平成32年度末までに行う」ことなどを決定しました。

この集約・基幹改良計画を実現するには、組合を構成する田村市・三春町・小野町の役割分担や費用負担などを定めた組合規約の改正が必要になります。また、規約の改正には構成市町議会の同意を要することから、田村市を含む3市町では、平成29年12月定例会に規約改正の議案を提出し、田村市と小野町の議会では可決されましたが、三春町議会では今日まで議決されていません。

組合を構成する3市町の執行機関（市長・町長）と2市町の議会の同意が得られたものの、1町の議会の同意が得られない事態に対して、組合では計画の見直

しや三春町への説明などを行ってきたほか、三春町議会の疑問や懸念に答える対応策も提示してきましたが、1年以上にわたって議会の賛否が示されない状況が続いています。

併前の旧7町村時からの既定路線でありました。今回の計画に際して行われた調査や検討では、過去の経過を踏まえながらも、廃棄物処理を巡る諸情勢、今後のごみの発生予測、収集・運搬や焼却の効率性・経済性など、あらゆる方面から総合的に熟慮し、結果、これまでの方針どおり、1カ所に集約し田村市内に施設を整備することを最良の方策として決定しています。



田村東部環境センター

ごみ処理問題の解消と
行政運営の効率化

平成29年度から田村東部環境センターの基幹改良工事に着手し、平成33年4月から稼働させるとした当初の計画では、国からの極めて有利な財政支援措置を見込むことができたが、1年以上工事の実施が停滞していることで期限切れとなり、5億円余り（田村市分として案分した場合に3億円強）の助成金を逸失しています。さらに、

現在の田村東部環境センターでは、市内で発生するごみの2割超を焼却処理していますが、施設の老朽化と非効率な焼却運転が解消されないことで、基幹改良後に見込んでいた運営経費の圧縮が図れず、田村市分として市民の税金から年間5千万円以上の無駄な支出が続くことになりました。

ごみの処理が、そう遠くない将来に滞ることになります。また、3人の市町長が理事になり、3市町議会からの代表者が組合議会議員として加わっている組合組織で決定され、構成市町議会の過半数の理解を得ながらも、一部の賛同が得られないために組合の重要案件が実現しないことは、今後においても想定されます。

でも廃棄物処理行政や情報系施策を担える組織基盤を整えたことも、脱退を判断した理由の一つです。

市民生活は変わらず
今後の連携も

組合から脱退することによって、ごみの出し方など、「市民生活が変わることはありません」。また、持続可能な体制とするため、効率性や経済性も十分検討した上で脱退を判断しましたので、新たな市民負担が生じることもありません。

結果として、5年後には組合を脱退することになりますが、今回の決定は広域行政そのものを否定するものではありません。現在の停滞した状況を前進させ、組織の仕組みを変えることが目的ですので、今後においても近隣町との連携や広域行政の取組みに意義や有効性が認められれば、積極的に推進していきます。

ごみ焼却施設集約の機関決定から脱退までの経緯

平成 28年 8月	ごみ焼却施設の東部環境センターへの集約を機関決定
平成 29年 9～10月	計画内容を、組合議会、各市町議会全員協議会などで説明
平成 29年 12月	田村市議会で関連議案が可決
平成 30年 1月	小野町議会で関連議案が可決。三春町議会は継続審査（その後廃案）
平成 30年 12月	三春町議会で再度の継続審査、小野町では再度可決
平成 31年 1月	組合理事会で、東部環境センターへの集約が白紙となる
平成 31年 3月	田村市議会で、広域行政組合脱退に関する議案を可決

田村広域行政組合脱退議案賛否一覧

議員番号	議員氏名	賛否	会派
1	二瓶 恵美子	反対	声をきく会
2	石井 忠重	賛成	新政たむら未来
3	白石 高司	反対	声をきく会
4	佐藤 重実	賛成	改革未来たむら
5	白石 勝彦	反対	声をきく会
6	安瀬 信一	賛成	新政たむら未来
7	渡邊 照雄	賛成	市民net たむら
8	土屋 省一	賛成	無会派
9	大橋 幹一	賛成	改革未来たむら
10	吉田 文夫	賛成	市民net たむら
11	遠藤 正徳	賛成	至誠会
12	菊地 武司	賛成	市民net たむら
13	石井 忠治	賛成	新政たむら未来
14	木村 高雄	賛成	無会派
15	照山 成信	反対	政友会
16	半谷 理孝	賛成	政友会
17	長谷川 元行	賛成	市民の会
18	猪瀬 明	賛成	政友会
19	橋本 紀一	賛成	市民の会
20	大和田 博		至誠会